



# Hotel B, Relais & Châteaux

ホテル・ビー「Hotel B, Relais & Châteaux」は太平洋に面する高級住宅街のミラフローレスに隣接し、アートとファッションの集積地とも言えるハイセンスなエリア、バランコ地区の中心部に立地している。1914年にフランスの建築家クロード・サウトによって設計された正面ファサードは美しい円柱を多用したベルエポック様式の華麗な外観を誇る



コロナルな雰囲気漂う夜間のレセプションホール。ホテル・ビー「Hotel B, Relais & Châteaux」は、南米で最もエレガントと思われる瀟洒なブティックホテルと言える



建物は当初から引き継ぐレガシーをそのままに、当時のペルー大統領アウグスト・レグイアのサマーハウスとして活用された



館内にはライブラリーやアートワークラウンジなどパブリックスペースも充実している



ロビーラウンジのソファに座った可愛らしいアルパカのマスコット。背後にも四体の前衛的な塑像が置かれている



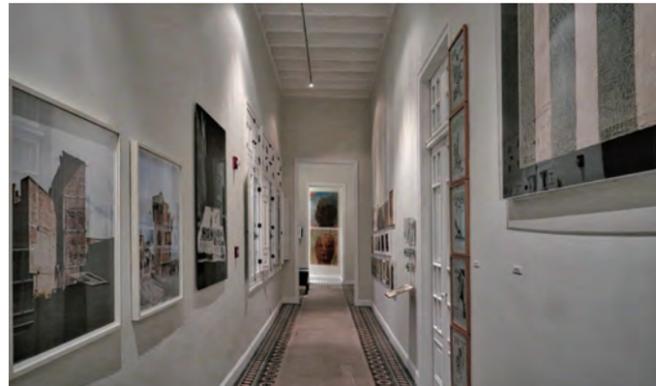
“アート・ブティックホテル”を名乗るだけあり、ホテル内は美術館を思わせる現代的なペルーの芸術家の作品を多く展示している



筆者 **小原 康裕**  
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。  
1974年 Munich Re 入社。  
2001年投資顧問会社原健設立、  
代表取締役 CEO。  
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント  
協会専務理事。  
SKAL International Tokyo、  
Professionnels du Tourisme 会員。  
JARC、日本宿泊施設関連連合会  
アドバイザーボードメンバー。

[www.jhrca.com/worldhotel/?cat42](http://www.jhrca.com/worldhotel/?cat42)  
[www.hoteresonline.com](http://www.hoteresonline.com)  
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>



館内廊下には現代的なラテンアメリカとペルーのアーティストのプライベートコレクションを多く掲げている

## Hotel B, Relais & Châteaux

ペルーの首都リマに南米で最もエレガントと思われる瀟洒なブティックホテルがある。その名はホテル・ビー「Hotel B」。太平洋に面する高級住宅街のミラフローレスに隣接し、アートとファッションの集積地とも言えるハイセンスなエリア、バランコ地区の中心部に立地している。1914年にフランスの建築家クロード・サウトによって設計された正面ファサードは美しい円柱を多用したベルエポック様式の華麗な外観を誇る。建物は当初から引き継ぐレガシーをそのままに、当時のペルー大統領アウ

グスト・レグイアのサマーハウスとして活用された。時を経て、1920年代ベルエポックの象徴とも言える白亜の邸宅は Relais & Châteaux に加盟し、洗練された僅か 17 室のブティックホテルへと変貌を遂げた。

Hotel B というユニークなホテル名の由来は定かではないが、“Barranco” 地区を代表する意味でイニシャルの “B” を掲げたと思われる。ホテル B は周辺地域のボヘミアンな雰囲気からインスピレーションを得て、館内に現代的なラテンアメリカとペルーのアーティストのプライベートコレクションを掲げている。“アート・ブティックホテル”を名乗るだけあり、ホテル内は美術館を



朝食はアットホームな雰囲気のレストラン「El Patio」で用意され、クオリティの高いメニューを堪能できる



テーブルにセッティングされた数多くの朝食メニュー。そのほか多くのホットミールを個別に注文できる



エレガントなソファ席での朝食セッティング



「Hotel B」は歴史的な邸宅マンションと増設された新館から構成され、こちらは新館側のカジュアルダイニング



メインダイニング「El Restaurant」はバーラウンジとディナーセッティングに分かれ、こちらはバーラウンジのコーナー



バーカウンター背後に色彩豊かなペインティングが飾られ心地よい気分になれる

思わせる現代的なペルーの芸術家の作品を多く展示し、滞在したゲストの目を楽しませてくれる。

Hotel Bは歴史的な邸宅マンションと増設された新館から構成され、3つの違ったタイプの客室「Alcoba」「Aposento」「Atelier」の17室を数える。今回は約40㎡の広さを持つ最上級タイプの「Atelier King Bed Room」を紹介したい。コンテンポラリーにしてクラシカルな雰囲気が漂う部屋で、玄関前の落ち着いたフォイエー「Foyer」がゲストを出迎えてくれる。朝食はアットホームな雰囲気のレストラン「El Patio」で用意され、クオリティの高いメニューを堪能できる。メインダイニング「El

Restaurant」はバーラウンジとディナーセッティングに分かれ、バーカウンター背後に色彩豊かなペインティングが飾られ心地よい気分になれる。

貧富の差が大きいペルーにあってHotel Bの宿泊レートはかなりの高額だが、どのタイプの部屋であってもゴージャスな朝食と「El Restaurant」でのアフタヌーンティーが含まれている。また、部屋数が17室ということでスタッフ一同のホスピタリティも行き届き、滞在に不足はない。館内はライブラリーやアートワークラウンジなどパブリックスペースも充実しており、一味違うペルー・リマの滞在に変化を持たせてくれる隠れ家的ホテルだ。

# Hotel B, Relais & Châteaux



約40㎡の広さを持つ最上級タイプの「Atelier King Bed Room」のベッドルーム。コンテンポラリーにしてクラシカルな雰囲気が漂う。1920年代ベルエポックの象徴とも言える白亜の邸宅はRelais & Châteauxに加盟し、洗練された僅か17室のブティックホテルへと変貌を遂げた



キングベッドの上に用意された黒のネクタイには訳がある。ドアノブにこのネクタイを掛ければ「Do not disturb」というユーモアあふれる意味になる



広い面積を確保したバスルーム。使いやすいツインシンクとお洒落なバスタブなどデザイン性豊かだ



客室玄関前の落ち着いたフォイエー「Foyer」。専用スペースなのでリビングルームとして使える



「Hotel B」を示す「B」のロゴをセンス良く使用したアメニティー。ルームキーもそのまま「B」である